

# 領域Ⅱ 男女双方の意識改革

## 1 性差に係る固定的な意識の解消

性別にかかわらず、自分らしく選択できていると感じている人は **58.0%**

性別にかかわらず、働き方や暮らし方を自分らしく選択できていると感じている人は、全体で58.0%となっており、前年度より1.9ポイント減少しました。男女別にみると、女性(54.5%)より男性(61.5%)のほうが割合が高くなっています。

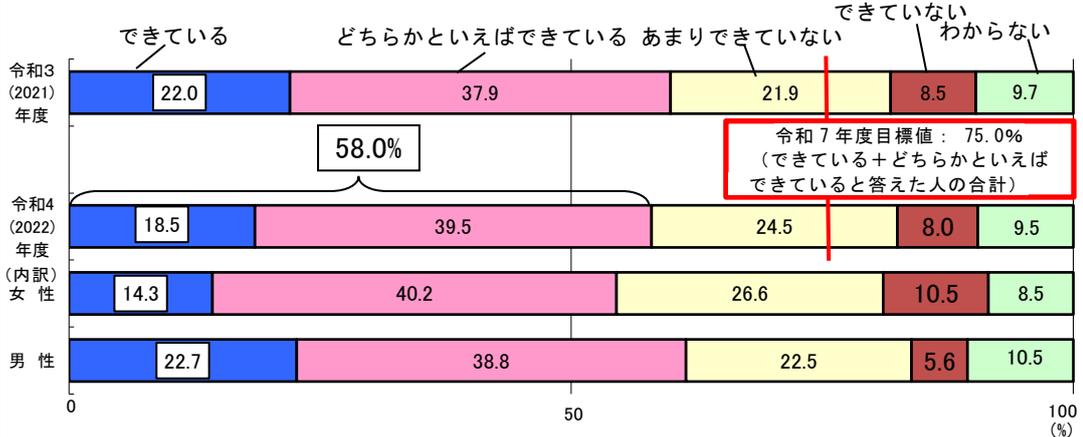
社会全体で「平等」と回答した人の割合は **女性 11.5%**  
**男性 18.2%**

男女の地位の平等感について、前回調査(平成29(2017)年度)と比較すると、「平等」と回答した人の割合が最も増加した分野は、職場(4.6ポイント増)となっています。これは、女性活躍推進法や働き方改革関連法などの影響により、職場において女性が平等感を感じられる場面が増えたことも要因として考えられます。

また、社会全体において「平等」と回答した人の割合は10%台と、依然として低い状況にあり、性別に関する固定的な意識の解消に取り組む必要があります。

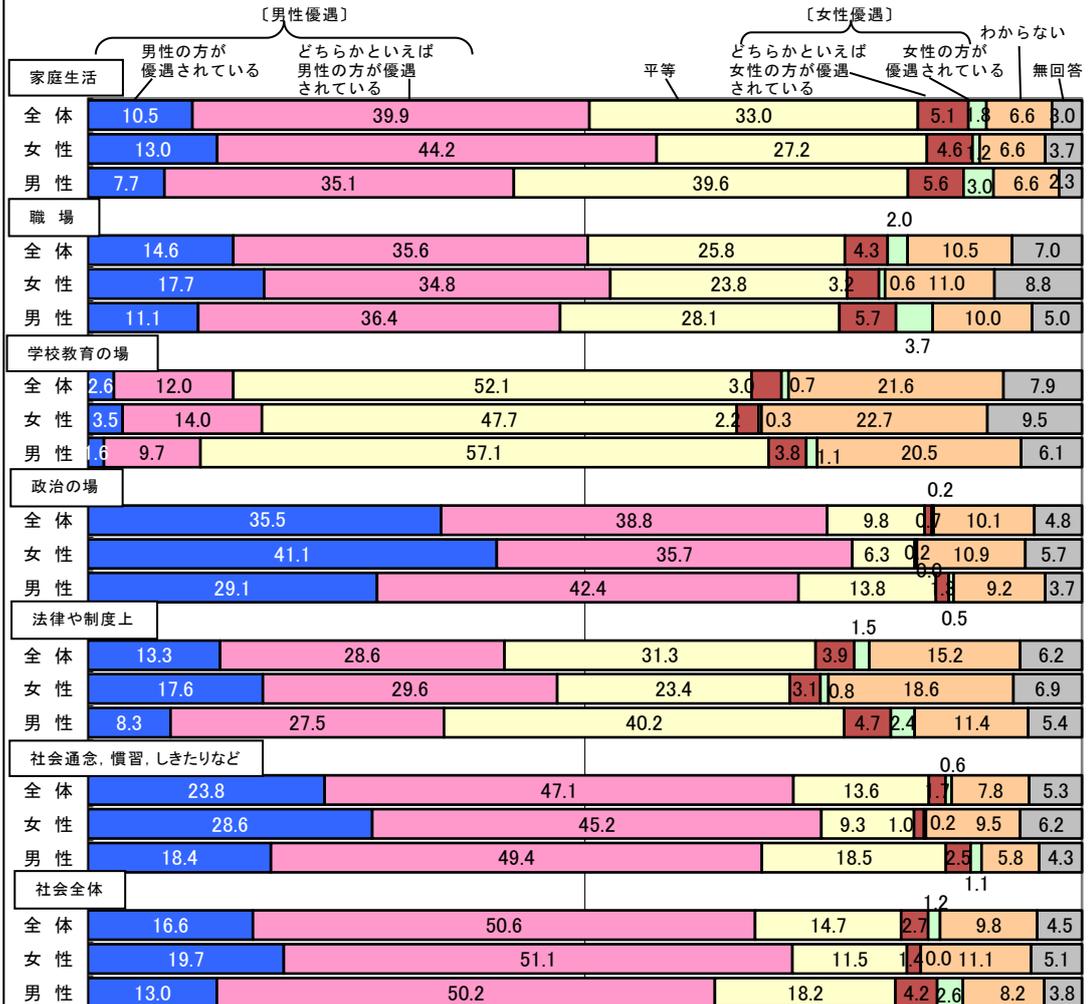
### 36. 性別にかかわらず、働き方や暮らし方を自分らしく選択できていると感じている人の割合

プラン成果指標



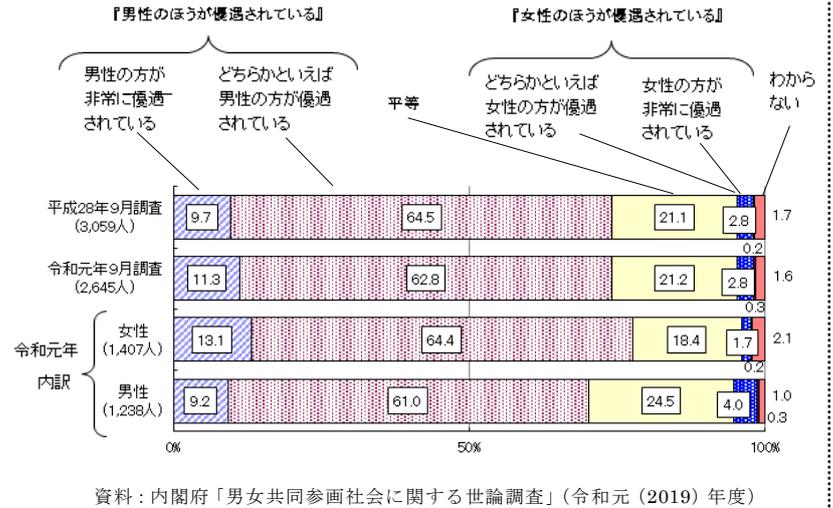
資料：広島県「男女双方の意識改革に係る調査」(令和4(2022)年度)

### 37. 男女の地位の平等観



資料：広島県「広島県政世論調査」(令和2(2020)年度)  
(調査対象は、県内在住の20歳以上の県民2,000人)

### 38.【参考】社会全体における男女の地位の平等感（全国）



夫は外で働き、妻は家庭を守るべきとの意見に  
**賛成 25.3%**  
**反対 57.4%**

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方については、反対計が賛成計を大きく上回っています。

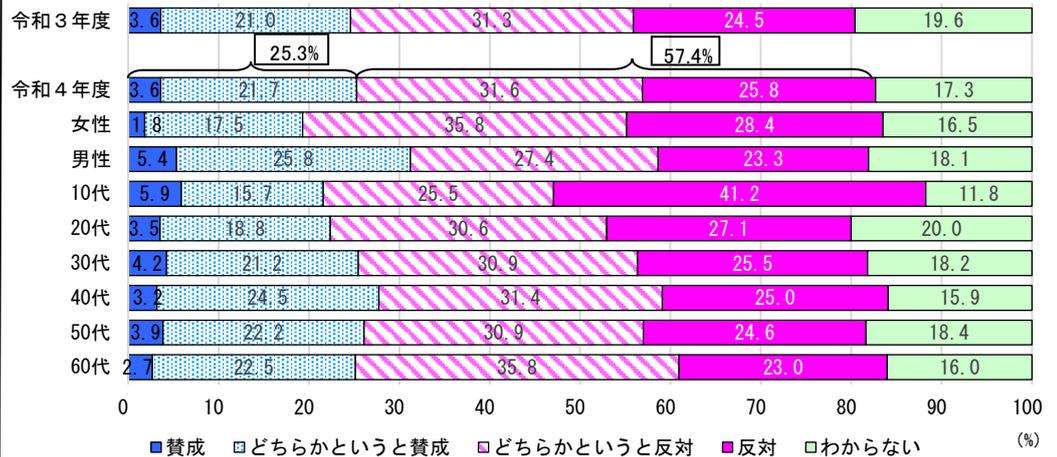
性別では、女性で反対計が64.2%と、男性（50.7%）を13.5ポイント上回り、年代別では、若い年代ほど「反対」と答えた人が「賛成」と答えた人を上回る数値となっています。

男女の役割について『家計を支えるのは男性の役割である』では「そう思う計」が5割弱で、「そう思わない計」を7ポイント上回っています。

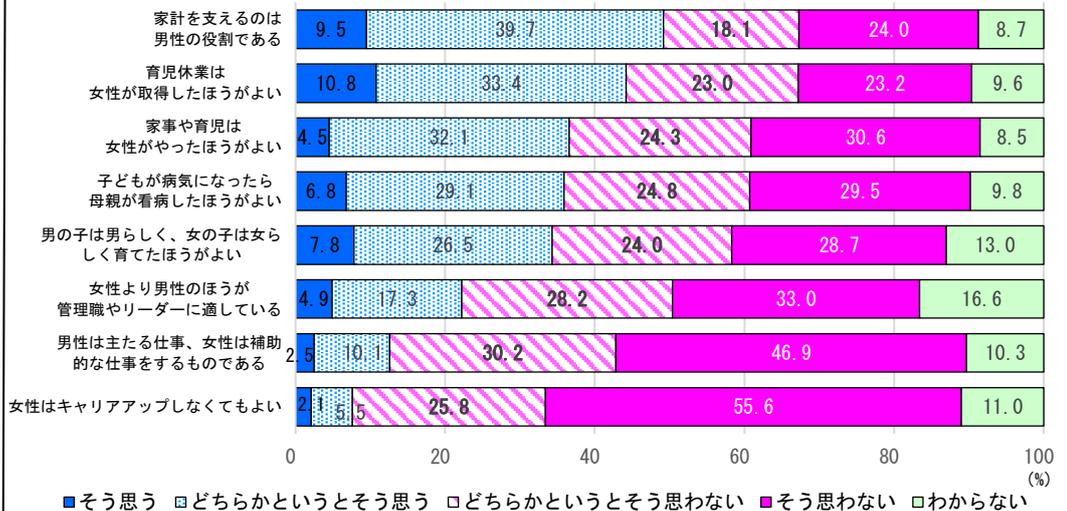
『育児休業は女性が取得』では、「そう思う計」と「そう思わない計」が4割半ばで拮抗しています。その他の項目では「そう思わない計」が「そう思う計」を上回っており、特に『女性はキャリアアップしなくてもよい』では「そう思わない計」が大きく、上回っています。

### ★ 38-2. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という

#### 考え方への意識



### ★ 38-3. 男女の役割に関する意見



## 2 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成

「高校生のためのライフプランニング教育プログラム」等を実施している学校は **20校** で全高校の **1/4**

ライフプランニング教育プログラム等を実施している県立高等学校は 82 校中 20 校 (24.4%) と、前年度より大幅に増加しました。

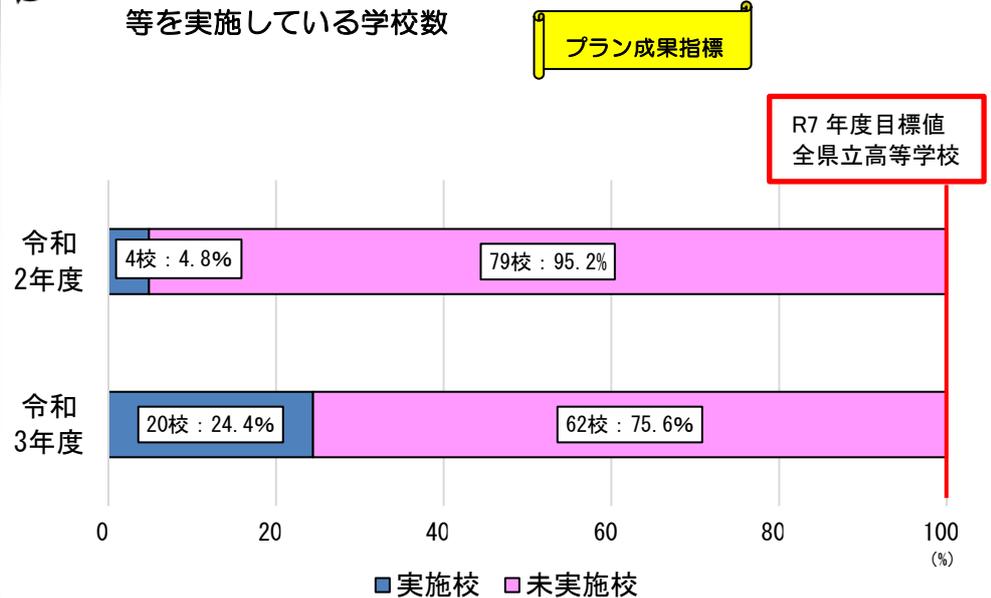
【高校生のためのライフプランニング教育プログラム】  
様々なライフイベントを踏まえた生活の中で、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら高校生が主体的に判断し、考え意思決定できる能力と態度を育成するプログラム。

大学進学率は  
女性 **56.4%** で  
過去最高

女性の大学への進学率は上昇傾向であり、令和 3 (2021) 年度は、女性 56.4%、男性 57.6%と、男性が 1.2 ポイント高くなっていますが、その差は年々小さくなっています。

短期大学への進学率は、女性が 6.1%、男性が 0.3%となっています。平成 9 (1997) 年以降、短期大学数が減少していることもあり、短期大学への進学率は低下しています。

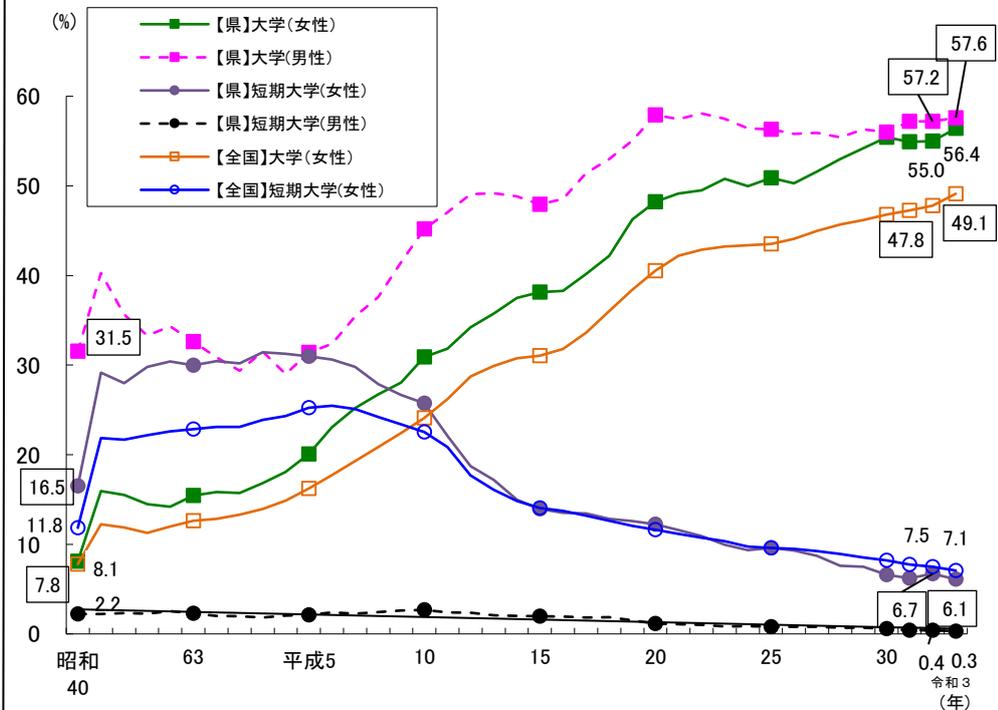
### 39. 「高校生のためのライフプランニング教育プログラム」等を実施している学校数



(注) 学校数は県立高校 (定時制・通信制・分校を含む)。  
資料：広島県教育委員会調べ (令和 3 (2021) 年度)

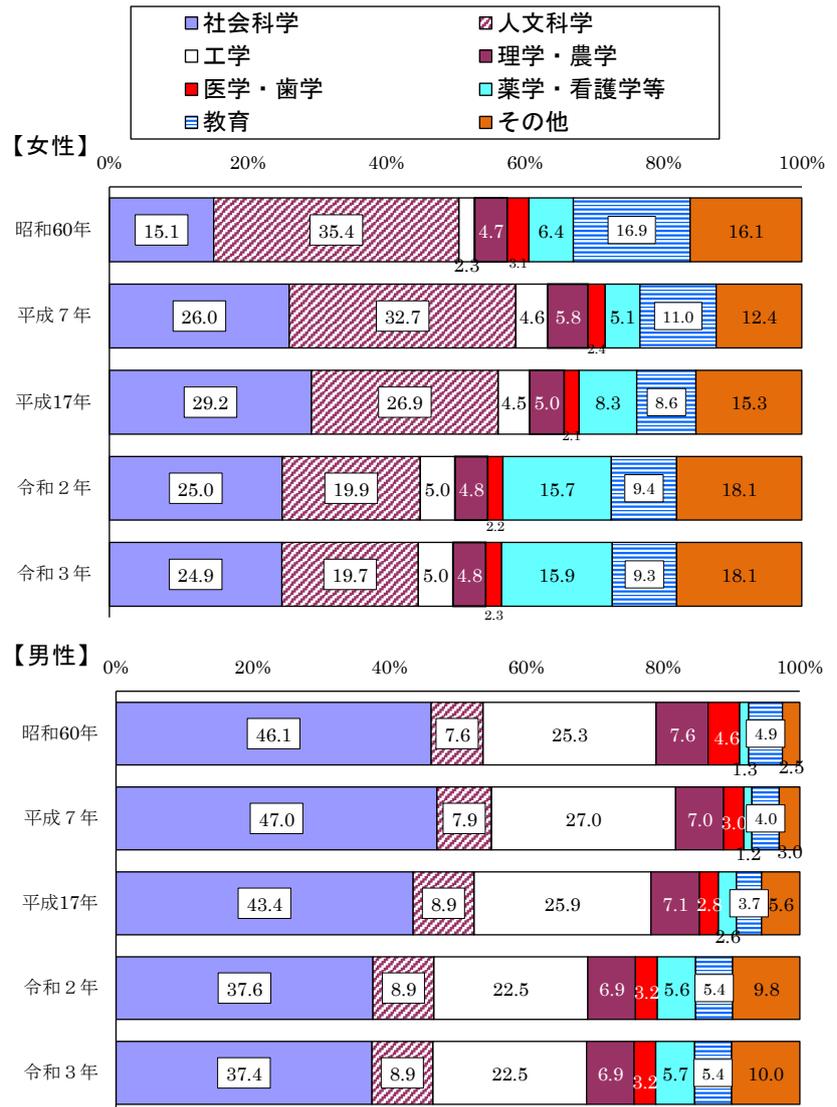
R7 年度目標値  
全県立高等学校

### 40. 男女別大学・短期大学進学率の推移 (全国・県)



(注) 昭和 60 年以前の数値は通信過程を卒業した者を含まない。  
資料：文部科学省「学校基本調査」(令和 3 (2021) 年度)

#### 41.【参考】専攻分野別学生割合（大学（学部））の推移（全国）



（注）その他は「家政」「芸術」「商船」「その他」の合計  
国立・公立・私立の全てを含む。

資料：文部科学省「学校基本調査」（令和3（2021）年度）